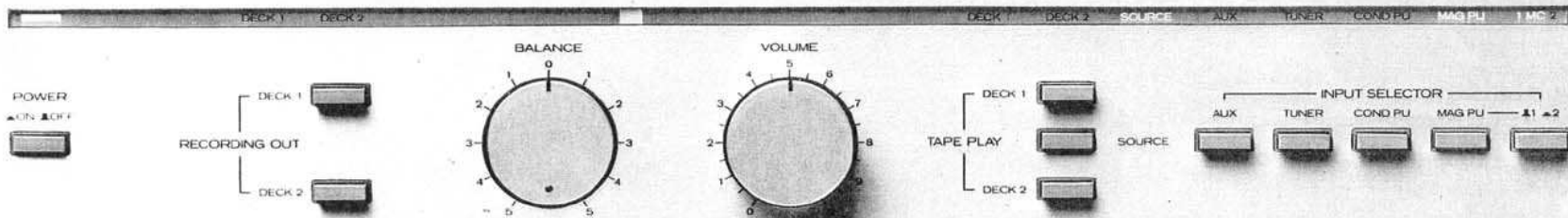


# STAX

スタックスから2作目の純正プリアンプ CA-Y登場

## STAX

STEREO PREAMPLIFIER POWERED BY SUPER SHUNT CIRCUIT CA-Y



# 電源重視の思想が、 またひとつプリアンプの名品を生みだしました。

●CA-X開発の経験をのり超えて、巧みな合理化と新手法を盛りこみました。

前作CA-Xの開発は、スタックスにとって正直なところ大変よい経験だったと思います。もし、コストに制限を設けなければ、プリアンプの音質はここまで行きつるのだという、ひとつの指標が得られたからですが、また同時に、音にとって重要度の高い部分をしっかりと見届けことができたことも有益でした。CA-Yは、この経験を大いに生かし、より重要度の高い部分にはCA-Xでも施し得なかった新手法を導入。巧みな合理化を進めながら、音質向上に新しい角度から再度挑戦しました。

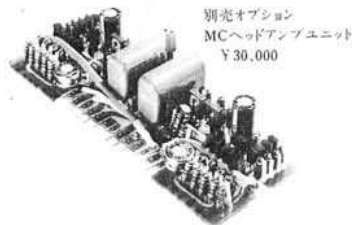
●スーパーシャント電源と、多重NFBがCA-Yの中核テクノロジーです。

CA-Xの開発経験で、スタックスがもっとも強く印象づけられたことは、プリアンプにおける電源部の重要性でした。そこでこのCA-Yにも、電源重視の思想を貫き、スタックスのオリジナル技術スーパーシャント電源を採用しました。これは電圧ばかりでなく電流も安定化するもので、過大な入力による電源のフラツキがほとんどなく、DC~100kHzまで0.5mΩ以下の低インピーダンス化を実現しています。また、回路構成の中にもCA-Yのユニークな一面がのぞきます。それは、まったく新しい多重NFBの採用。これにより、サーボ回路を用いることなく、入出力のカップリングコンデンサーを追放。フォノ入力から出力まで、文字通りの“直結”を果たしました。イコライザーとフラットアンプは、差動二段にA級SEPPのバッファを追加した構成で、初段にはデュアル

FETを配しています。

尚、CA-YではMCヘッドアンプ方式をとり、この音質追求型ヘッドアンプはオプションになっています。

●合理化とはほど遠い良質な素材を投入しました。  
NF抵抗に抱かせる形で使用した空気コンデンサーをはじめ、良質な素材を随所に投入しています。信号経路の抵抗は、すべて金属皮膜抵抗。ボリュームには、CP(導電プラスチック)ボリュームを採用し、低雑音、低ひずみを期しています。また、基板に目を転じると、厚さ300μ銅箔のガラスエポキシが。そしてジャンパー線には金メッキの無酸素銅線を配し、シールド線には銀のシールド線を用いるなど、信号経路の純化に細心の配慮を払いました。  
回路から、電源から、そして素材から、音質向上にアプローチ



別売オプション  
MCヘッドアンプユニット  
¥30,000

したCA-Y。あなたの忌憚のない評価をお待ちしています。

- ☆アルミケースを採用し、磁性体を追放。
- ☆リモコンスイッチにより、信号系の線材を大幅減。
- ☆パラ接点で接点抵抗を減少。
- ☆自動調光式スイッチポジション表示。

新製品 ステレオプリアンプ

# CA-Y

¥195,000

(ブラックタイプもあります)